

1. 現地の状況及びスケジュールについて

膨大な廃棄物が発生

岩手県：約 530 万 t (約 12 年分)

宮城県：約 1,150 万 t (約 14 年分)

※処理済み：約 18% (5月31日現在)

【早期復興】

- ・ 火災、悪臭、ハエの発生など、生活環境保全上の観点からも、一日も早い処理が必要

仮設焼却施設等を設けて処理を実施しているが、  
なお処理能力が不足

広域処理希望量

岩手県：約 120 万 t    うち、木くず等：約 30 万 t

◎大阪市での受入対象物は、主に木くず等

- ・ 安全性が確認されたものに限られる
- ・ 岩手県の選別後の廃棄物の空間放射線量は、0.020~0.100 マイクロシーベルト/時、  
大阪市内の大気中では、0.078~0.080 マイクロシーベルト/時
- ・ 放射能濃度は、不検出または微量